



東リ株式会社

証券コード:7971



明日の地球を思うこと

TOLI REPORT

株主・投資家のみなさまへ

第149期 第2四半期累計期間のご報告

(2012年4月1日～2012年9月30日)

ひとつの空間について考えることは、 そこに集まる人や、自然環境について考えること。

快適で感性豊かな空間を提案するトータルインテリアメーカーとして、東リがお届けするのは、「365日のビューティフル」。人を包みこむ空間・自然・社会を見据えた、大きな視野でインテリアを考えています。



東リコーポレートシンボル「365日のビューティフル」
やわらかな曲線でTの字を型どったフォルムは、無限の可能性に挑戦する東リの姿勢を。美しく鮮やかなカラーは、毎日の生活を自由に描く豊かな感性を。浮かび上がるTOLIの文字は、確かな技術力と国際性を表現しています。

Q.当社グループの経営の基本方針は？

A.

当社グループは、経営理念として〈インテリア事業を通じて生活文化の向上に貢献する〉〈顧客中心主義を行動規範とする〉〈トータルインテリアのリーディングカンパニーを目指す〉の3つを掲げ、事業活動を行っております。『すべてはお客様のために』を行動指針とし、住宅やオフィス、学校、医療・福祉施設、商業施設など、あらゆる住・生活空間に豊かさをご提供するものづくりやサービスに努めることで、企業価値の向上に取り組んでおります。

また、法令を遵守することはもちろん、地球環境保全にも配慮するなど社会に対する責任を果たすべく、良識ある健全な企業活動に徹し、世の中から信頼され期待される企業グループを目指しております。

Q.当社グループの営業の概況は？

A.

当第2四半期におけるわが国経済は、個人消費や設備投資に緩やかな回復がみられたものの、世界景気減速の影響により弱含む展開となりました。インテリア業界におきましては、原材料価格は高い水準で推移しましたが、建築着工が緩やかながら持ち直し、内装材需要は増加傾向にありました。

こうしたなか、当社グループは独自性のある製品開発と積極的な提案営業を通じて需要の創出に注力するとともに、コスト低減を推進して収益性の向上に努めた結果、当第2四半期における売上高は39,620百万円(前年同期比 7.4%増)、営業利益は314百万円(前年同期 営業損失454百万円)、経常利益は322百万円(前年同期 経常損失473百万円)、四半期純利益は70百万円(前年同期 四半期純損失344百万円)となりました。

当期の中間配当につきましては、当社グループの事業環境を鑑み、見送ることとさせていただきます。

株主のみなさまにおかれましては、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

株主・投資家のみなさまへ

株主・投資家のみなさまにはますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。
平素は格別のご支援ご愛顧を賜り、まことに有難く厚く御礼申し上げます。
さて、このたび第149期上半期(2012年4月1日～2012年9月30日)を終了いたしましたので、当社グループの事業の概況および決算の状況などをご報告申し上げます。

代表取締役社長

永嶋元博



Q. 対処すべき課題は？

A.

当社グループは、業界を牽引するトータルインテリアメーカーとして、その社会的使命を認識し、お客様に快適なライフスタイルをご提案するため、きめ細かな商品展開や積極的な販売促進に尽力してまいります。中期経営計画「改革・成長 2014」の重点戦略目標達成に向けた取り組みを推進し、原油価格の変動に伴う主要原材料コストの上昇や競争激化など不透明な経営環境課題を乗り越え、当社グループがさらに強靱な事業基盤を確立し、成長を加速させることが重要な経営課題と考えております。

また、当社グループは、メーカーとして、「環境保全」や「安全品質」に対する取り組みは最優先課題の一つであると認識しております。人と地球にやさしい企業グループでありたい、という思いを「東リエコスピリット」として表わし、低炭素化の推進をはじめとするさまざまな側面から、真剣に環境問題に取り組んでおります。限りある資源を有効に活用しながら、人と地球にやさしい商品の開発に努めて皆さまにご提供していくことで、企業市民としての責任を果たし、「世の中から信頼され、期待される」企業グループであり続けるよう、

努力してまいります。

当社グループは、会計をはじめとするあらゆる業務の適正を確保することも重要な経営課題と認識しております。当社グループでは、内部統制報告制度に対応した内部統制の評価管理体制を構築・運用しており、これをさらに推し進めることで、企業経営のより一層の効率化・明瞭化とガバナンス体制の強化に取り組んでまいります。

株主・投資家のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

業績推移

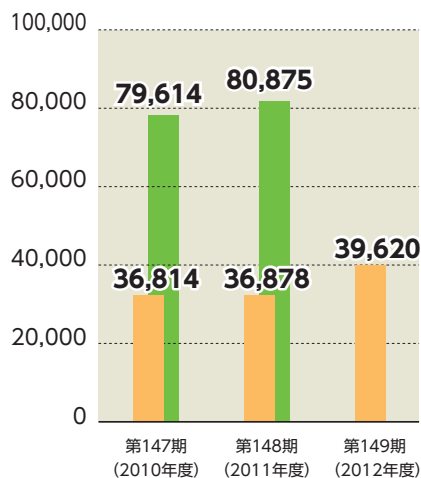
(単位:百万円)

連 結	第147期(2010年度)		第148期(2011年度)		第149期(2012年度)
	第2四半期 連結累計期間	通 期	第2四半期 連結累計期間	通 期	第2四半期 連結累計期間
売上高	36,814	79,614	36,878	80,875	39,620
経常利益	△407	867	△473	1,037	322
四半期(当期)純利益	△403	274	△344	283	70
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	△6.38	4.34	△5.54	4.55	1.13
総資産	62,199	64,152	60,223	65,373	63,102
純資産	23,976	24,542	23,714	24,509	24,116

売上高

(単位:百万円)

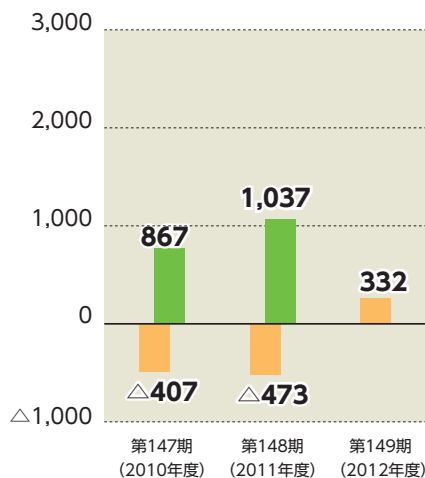
■ 第2四半期累計 ■ 通期



経常利益

(単位:百万円)

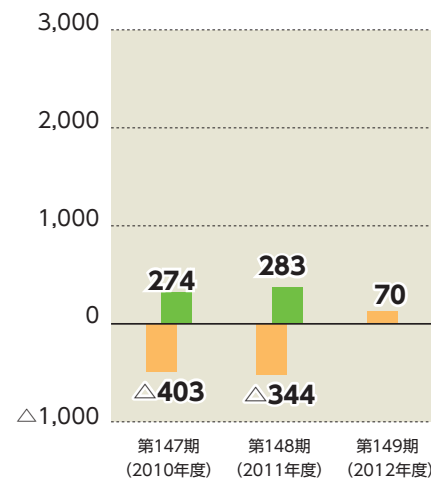
■ 第2四半期累計 ■ 通期



四半期(当期)純利益

(単位:百万円)

■ 第2四半期累計 ■ 通期



事業別案内

プロダクト事業

塩ビ床材では、医療福祉施設での需要が堅調でビニル床シート「ホスピリウム」「SFフロア」が売上を伸ばしたほか、マンション向けの開放廊下用防滑性ビニル床シート「NS800」や階段用床材「NSステップ800」が順調に推移しました。カーペットでは、オフィス需要の回復に伴い、中・高級グレードでデザイン性の高いタイルカーペット「GXシリーズ」「VARYシリーズ」が好調に推移しました。結果といたしまして、プロダクト事業の売上高は24,297百万円(前年同期比 8.8%増)、セグメント利益は30百万円(前年同期 セグメント損失448百万円)となりました。



CFシート-H CF9001

インテリア卸及び工事業

販売子会社においては、当社製品売上が堅調に推移したことに加えて、建材・設備関連が売上を伸ばしたほか、市況の回復を受けて工事が好調に推移したことから、インテリア卸及び工事業の売上高は26,406百万円(前年同期比 6.7%増)、セグメント利益は338百万円(前年同期 セグメント損失9百万円)となりました。



東リカーテン エルア KSA3300

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プロダクト事業	インテリア卸及び 工事業	計		
第148期第2四半期連結累計期間売上高					
外部顧客への売上高	12,257	24,620	36,878	—	36,878
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,084	136	10,220	△10,220	—
計	22,341	24,756	47,098	△10,220	36,878
第149期第2四半期連結累計期間売上高					
外部顧客への売上高	13,409	26,211	39,620	—	39,620
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,887	195	11,083	△11,083	—
計	24,297	26,406	50,703	△11,083	39,620

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

資 産 の 部 (単位:百万円)

科 目	第148期 (2012年3月31日現在)	第149期 第2四半期 連結会計期間 (2012年9月30日現在)
流動資産	41,860	40,241
現金及び預金	5,319	6,625
受取手形及び売掛金	26,114	21,806
有価証券	715	715
たな卸資産	8,682	9,682
繰延税金資産	409	616
その他	987	1,163
貸倒引当金	△ 368	△ 369
固定資産	23,513	22,861
有形固定資産	15,892	15,977
建物及び構築物	5,256	5,119
機械装置及び運搬具	1,588	1,639
土地	8,672	8,672
その他	374	546
無形固定資産	605	521
投資その他の資産	7,014	6,361
投資有価証券	3,616	2,859
長期貸付金	132	126
繰延税金資産	1,548	1,525
その他	2,067	2,191
貸倒引当金	△ 349	△ 342
資産合計	65,373	63,102

負 債 の 部 (単位:百万円)

科 目	第148期 (2012年3月31日現在)	第149期 第2四半期 連結会計期間 (2012年9月30日現在)
流動負債	29,534	27,398
支払手形及び買掛金	22,734	20,939
短期借入金	3,209	3,010
その他	3,590	3,449
固定負債	11,329	11,586
長期借入金	5,010	5,210
退職給付引当金	4,089	4,099
その他	2,229	2,277
負債合計	40,864	38,985

純 資 産 の 部 (単位:百万円)

科 目	第148期 (2012年3月31日現在)	第149期 第2四半期 連結会計期間 (2012年9月30日現在)
株主資本	23,972	23,731
資本金	6,855	6,855
資本剰余金	6,423	6,423
利益剰余金	11,710	11,469
自己株式	△ 1,016	△ 1,016
その他の包括利益累計額	338	183
その他有価証券評価差額金	338	183
少数株主持分	198	201
純資産合計	24,509	24,116
負債及び純資産合計	65,373	63,102

ポイント1

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前期末に比べ2,271百万円減少し、63,102百万円となりました。流動資産は、前期末に比べ1,619万円減少し、40,241百万円となりました。この主な要因は、季節変動に伴う売上債権の減少等によるものです。固定資産は、前期末に比べ652百万円減少し、22,861百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券が減少したこと等によるものです。

ポイント2

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前期末に比べ1,879百万円減少し、38,985百万円となりました。この主な要因は、仕入債務が減少したこと等によるものです。

ポイント3

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、配当金の支払い等による利益剰余金の減少や、株式の時価の下落によるその他有価証券評価差額金の減少等により、前期末に比べ392百万円減少し、24,116百万円となり、自己資本比率は、37.9%となりました。

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	第148期 第2四半期 連結累計期間 (2011年4月1日~2011年9月30日)	第149期 第2四半期 連結累計期間 (2012年4月1日~2012年9月30日)
売上高	36,878	39,620
売上原価	27,290	28,933
売上総利益	9,587	10,686
販売費及び一般管理費	10,041	10,371
営業利益	△ 454	314
営業外収益	184	190
営業外費用	203	182
経常利益	△ 473	322
特別利益	—	—
特別損失	27	148
税金等調整前四半期純利益	△ 501	174
法人税、住民税及び事業税	35	196
法人税等調整額	△ 197	△ 97
少数株主損益調整前四半期純利益	△ 339	75
少数株主利益	5	5
四半期純利益	△ 344	70

ポイント 4

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ7.4%増の39,620百万円となりました。インテリア業界におきましては、原材料価格が高い水準で推移したことから、経常利益は前年同期に比べ796百万円増の322百万円、四半期純利益は70百万円となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	第148期第2四半期 連結累計期間 自 2011年4月 1 日 至 2011年9月30日	第149期第2四半期 連結累計期間 自 2012年4月 1 日 至 2012年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,867	1,945
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 248	△ 151
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 906	△ 579
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	711	1,206
現金及び現金同等物の期首残高	5,784	5,972
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,496	7,178

ポイント 5

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,206百万円増加し、7,178百万円となりました。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

商品販売やサービス提供など本来の事業によって、どれだけの資金を獲得したかを表しています。営業活動によるキャッシュ・フローは、1,945百万円の収入(前年同期1,867百万円の収入)となりました。税金等調整前四半期純利益の増加により、前年同期に比べ収入が増加しました。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

将来の利益獲得、資金運用のためにどれだけの資金を支出し、または回収したかを表しています。投資活動によるキャッシュ・フローは、151百万円の支出(前年同期248百万円の支出)となりました。投資有価証券の償還による収入の増加等により、前年同期に比べ支出が減少しました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動と投資活動を維持するために、どの程度の資金が調達・返済されたかを表しています。財務活動によるキャッシュ・フローは、579百万円の支出(前年同期906百万円の支出)となりました。長期借入金の返済額の減少等により、前年同期に比べ支出が減少しました。

納入実績

エリア	物 件 名
北海道	札幌徳洲会病院
青森県	イオン八戸田向ショッピングセンター
宮城県	宮城野区文化センター
長野県	医療法人公生会 竹重病院
東京都	JPタワー
東京都	大手町フィナンシャルシティ
愛知県	社会医療法人明陽会 成田記念病院
静岡県	静岡赤十字病院増改工事(新別館)
岐阜県	社会医療法人厚生会 多治見市民病院
大阪府	新大阪阪急ビル
大阪府	医療法人大植会 葛城病院
岡山県	社会医療法人社団十全会 心臓病センター榊原病院
徳島県	徳島県立中央病院
福岡県	福岡サンパレス リニューアル
長崎県	医療法人伴帥会 愛野記念病院

納入物件

福島県

ホテル美里

(タイルカーペット特注品)



山梨県

加納岩総合病院

(ノンワックスリウム他)



トピックス

【2012年度グッドデザイン賞】受賞

「東リ防滑性ビニル床シートNS800 ヘリンボーン」が、
公益財団法人日本デザイン振興会の主催する「2012年度グッドデザイン賞」(Gマーク)を受賞しました。

「NSシートNS800」はマンションの開放廊下やバルコニーを主な用途とする防滑性と耐候性に優れたビニル床材です。1992年の発売以来、20年にわたり数多くの実績を残しており、新築はもとよりリニューアルにおいてもご利用いただけます。今回受賞したヘリンボーンのデザインは、無機質になりがちな建材部材からの脱却を図り、新しくデザイン性に富んだ、高級感のあるシャープでスタイリッシュな表情が特長です。光と影が綾なすエンボスの変化が、様々な空間を演出します。

なお、今回の審査におきまして、「ヘリンボーン調のエンボス加工が特徴的、かつ質感に高級感がある。機能面ばかりを重視しがちなこの分野では、今までに無かった意匠性の高い商品である。清掃性、防滑性といった機能と、ユーザーを満足させる意匠性の両面を求める市場に応え、意識の行き届きにくかった部位の空間デザインへの重要性を気づかせようとする点も高く評価した。」とのコメントをいただきました。

【製品概要】

【「東リ防滑性ビニル床シートNS800 ヘリンボーン」】

価格: 3,550 円/m²(材料価格 税抜き価格)

6,460 円/m(1820mm 幅)(材料価格 税抜き価格)

4,690 円/m(1320mm 幅)(材料価格 税抜き価格)

規格: 幅×長さ1820mm・1320mm×20m

全厚2.5mm(凸部)

品種: 複層ビニル床シートFS

梱包: 20m/巻

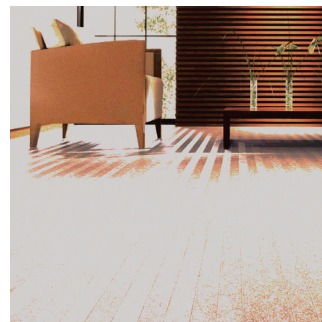
アイテム数:1 柄2 色

※NSシートNS800の総アイテム数は7柄73色です。

発売日:2012年7月26日



NS867



NS866



GOOD
DESIGN

会社情報

当社の概要

(2012年9月30日現在)

創 立	1919年(大正8年)12月1日
資 本 金	6,855百万円
従 業 員 数	760名
主な事業内容	・プロダクト事業 塩ビタイル、塩ビシート、カーペット、 カーテン、壁装材、接着剤等の製造販売

役員

(2012年9月30日現在)

〈取締役・監査役〉	代表取締役会長	柏 原 賢 二
	代表取締役社長	永 嶋 元 博
	専 務 取 締 役	吉 森 忠 重*1
	常 務 取 締 役	大 谷 正 男*1
	取 締 役	鈴 木 潤*1
	取 締 役	松 本 渉*1
	常 勤 監 査 役	尾 田 正 孝
	常 勤 監 査 役	浪 花 芳 法
	監 査 役	堀 村 不器雄*2
	監 査 役	春 名 一 典*2

(注) *1印を付した4氏は、取締役と執行役員の兼務者であります。
*2印を付した両氏は、社外監査役であります。

本社および事業所

(2012年9月30日現在)

本 社	兵庫県伊丹市東有岡5-125
東 京 本 部	東京都港区東新橋2-10-4
工 場	伊丹、厚木
ショールーム	札幌、東京、名古屋、大阪
営業所所在地	札幌、盛岡、仙台、さいたま、水戸、千葉、東京、八王子、 横浜、長野、新潟、名古屋、石川、静岡、京都、大阪、 神戸、岡山、広島、高松、松山、福岡、北九州、鹿児島

〈執行役員〉

執 行 役 員	武 田 松 利
執 行 役 員	小 谷 良 道
執 行 役 員	安 嶋 二 郎
執 行 役 員	江 辺 晴 信
執 行 役 員	富 田 芳 朗
執 行 役 員	天 野 宏 文
執 行 役 員	村 山 としき

株式の状況

株式数および株主数 (2012年9月30日現在)

・発行可能株式の総数	141,603千株
・発行済株式の総数	66,829千株
・株主数	5,994名
・1人当たりの平均持株数	11,149株

株式分布状況 (2012年9月30日現在)

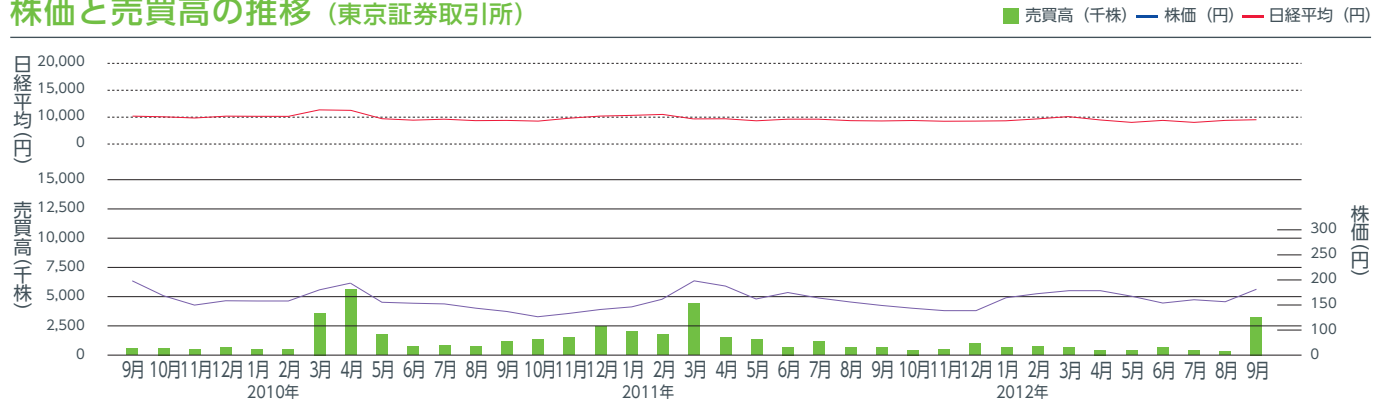
・個人・その他	19,270千株(28.84%)
・その他法人	20,042千株(29.99%)
・金融機関	19,873千株(29.74%)
・自己保有	4,611千株(6.90%)
・外国法人・個人	2,821千株(4.22%)
・金融商品取引業者	210千株(0.31%)

大株主 (2012年9月30日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本生命保険相互会社	4,551	7.3
株式会社トクヤマ	2,780	4.4
双日株式会社	2,532	4.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,783	2.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,777	2.8
三信株式会社	1,730	2.7
帝人テクノプロダクツ株式会社	1,489	2.3
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,485	2.3
東親会持株会	1,428	2.2
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,390	2.2

*当社の自己保有株式は、上表より除いております。
*持株比率は、自己株式(4,611千株)を控除して計算しております。また、小数点第2位以下を切り捨てております。
*帝人テクノプロダクツ株式会社は、平成24年10月1日付で帝人株式会社に吸収合併されております。

株価と売買高の推移 (東京証券取引所)



株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日
	期末配当金 3月31日
	中間配当金 9月30日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人及び	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	〒100-0005東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
事務取扱場所	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(お問い合わせ先)	0120-094-777(通話料無料)

公告の方法 電子公告の方法により、下記の東リホームページに掲載します。
但し、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、
日本経済新聞に掲載します。

ホームページアドレス <http://www.toli.co.jp>

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【お知らせ】

●株式関係の手続きのご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社のフリーダイヤルおよびインターネットでも24時間承っております。

- ・電話(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部)
0120-684-479(大阪証券代行部)
- ・ホームページアドレス <http://www.tr.mufg.jp/>

※本誌に関する注意事項

本誌に記載されている当社グループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた当社グループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、さまざまな要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。

攻めるエコ。



東リ株式会社

<http://www.toli.co.jp>

当社は、インターネット上にホームページを開設し、会社情報、商品紹介、レポートやニュースをご案内いたしております。

